展示解説シート

愛鷹山周辺には、旧石器時代から断続的に遺跡が見つかっています。なぜ人々はそこに住むようになったのでしょうか。そして、どのような生活をしていたのでしょうか。今回は、静岡県東部の皆さんにとって身近な山である愛鷹山周辺の遺跡に焦点をあて、発掘された資料から見えてくる旧石器時代から奈良時代の人々の生活の知恵を紹介します。

富士山かぐや姫ミュージアム
令和３年９月18日（土）～11月28日（日）

愛鷹山と生きる（あしたかやまといきる）

原始・古代の生存戦略

プロローグ　～愛鷹山と周辺環境～

愛鷹山は富士市の東部から、沼津市・裾野市・長泉町の３市１町にまたがる９つの峰が連なる火山です。愛鷹山南麓には、富士川などの砂礫が堆積した海岸砂丘と山裾との間に広がるラグーンに、山から南流する須津川などが運んだ土砂が注ぎこまれて形成された浮島ヶ原低地が広がっています。

愛鷹山中には、クリやクヌギなどが生育し、山や河川、浮島ヶ原低地、駿河湾に生息する豊富な動植物は、人々の生活を様々な形で支えてきました。

1　山を駆け、穴を掘る旧石器人

愛鷹山麓に人が住み始めたのは、38,000年前の旧石器時代です。出土した石器を層ごとに見ていくと、石器の種類に変化が生じています。人々が、生活に合わせて道具を増やしつつ変えていたことがわかります。また、愛鷹山麓やその東側の箱根山麓には、尾根上に穴を列状に掘る陥し穴が作られました。

管理などで、一定期間同じ場所に留まる必要のある陥し穴の利用は、気候変動の激しかった旧石器時代において、比較的温暖であった愛鷹山麓だからこそ行われた生存戦略のひとつといえます。

矢川上Ｃ遺跡出土　尖頭器　→

2　場所が変われば、道具もかわる

縄文時代に入ると、人々は住居を用いて定住をするようになり、多様な石器がまとまって出土するようになります。遺跡は、愛鷹山南麓の山間部に多く立地していますが、前期頃（約 8,000 年前）には、山間部だけでなく、浮島沼周辺にも集落が作られるようになります。遺跡ごとの石器の出土数量をみてみると、山間部の遺跡では、狩猟具の石鏃や土掘具の打製石斧、植物加工具の磨石類が多く出土し、浮島沼近くの遺跡では、漁撈具の石錘が多く出土しています。集落の周辺環境に合わせ、道具を変えながら生活していたことがわかります。

峰山遺跡出土　有頭石錘・打欠石錘・磨製石斧

3-1　遺跡をトリまく水とのかかわり

雌鹿塚遺跡は、沼津市原に所在する弥生時代中期後半～後期の遺跡です。遺跡からは、東日本では珍しい農耕祭祀に関わる鳥形木製品が、複数出土しています。また鍬鋤類や田下駄などの農耕具も出土しており、水田農耕を行っていた可能性があります。

遺跡からは、多数の漁撈網のおもりである石錘や、舟の櫂、舟形の木製品が出土していることなどから、漁撈が積極的に行われていたことが考えられます。

雌鹿塚遺跡出土　鳥形木製品

3-2　リーダーの出現

弥生時代後期になると、生活圏が雌鹿塚遺跡などのある低地部と、高地性集落とよばれる丘陵中腹（標高 100 ～ 170 m付近）の大きく 2 つの地域に分かれるようになります。愛鷹山麓では、環濠の一部とみられる溝をもつ遺跡が確認されています。設置目的は、集落の防御や人々の団結、他集落との区画、陥し穴的利用などが考えられています。弥生時代後期には、戦いに関わると考えられる遺物や、大陸由来の道具が愛鷹山からも出土するようになります。争乱等による緊張関係などから人々の団結が進み、集落をまとめるリーダーが出現することで古墳時代の首長へとつながっていくものと思われます。

的場遺跡出土　有孔磨製石鏃　→

3-3　舟で旅する巨大壺

突帯文（土器面より一段高く盛り上げた線状や帯状の文様）を施し、二重の口縁をもつ大廓式土器と呼ばれる大型の壺が、弥生時代終末期から古墳時代前期にかけて東駿河地域で生産・使用されるようになり、関東各地や甲信地域に搬出されました。

大廓式大型壺の用途としては、古墳での祭祀用のほか、稲籾などを舟で運ぶ容器としての使用が考えられています。弥生時代後期に誕生した東駿河地域のリーダーが、勢力の拡大や東国の開拓を後押しするために、稲籾を入れた大廓式大型壺を交渉の材料に用いたとする意見もあります。

4　災害からの復興と前方後円墳

駿河地域周辺では、3 世紀中頃から大型の首長墳が順調に築かれていたのが、4 世紀後半から 5 世紀には大型古墳の築造が停止します。ちょうどこの頃、富士山の南麓や東麓に大規模な溶岩流が流れ出たほか、大淵スコリアの降灰被害も広がっていました。深刻な噴火災害により地域情勢が不安定であったため、統率力ある首長が現れなかった可能性があります。大淵スコリア噴火後の 5 世紀末頃には富士山の噴火活動も収まりつつあり、各地で新興の中小首長による前方後円墳などの古墳築造が再開します。

5-1　愛鷹山の群集墳と地域開発

6 世紀後半以降、駿河・伊豆地域で前方後円墳が造られなくなると、横穴式石室を備えた小型の古墳が愛鷹山麓や富士山麓などに密集して築かれるようになります。群集墳の時代の到来です。西は赤淵川、東は桃沢川に挟まれた愛鷹山南麓には、少なくとも 1,000 基以上の古墳が築かれたとみられますが、南西部の須津（中里・神谷）・船津・石川の三大古墳群に 600 基以上が集中しています。

群集墳の時代には、この地域全体を統一するような突出した首長墳が見当たらないことから、尾根筋や谷といった墓域を共有する古墳群単位で、それぞれの集団を率いるリーダーが登場したと考えられます。彼らは噴火によって疲弊していたこの地域を開発することで、新たな産業を興していったことが、最新の調査によって明らかになってきました。

5-2　愛鷹山麓の開拓者たちの素顔

開拓指導者の装い　古墳の被葬者は武器を持って権威を示したほか、様々な装飾品で自身や馬などを飾りました。群集墳のリーダーたちは、金色に輝く耳環や希少な鈴付のアクセサリー、渡来人との関わりが想定される銅釧、様々な素材で作られた色とりどりの玉類などを身に付けたほか、伝統的な権威の象徴である銅鏡を有する者もいました。

武人として　古墳の副葬品でとりわけ目を引くのが武器類です。金銅や銀などで美しく装飾が施された大刀をはじめ、鉄鏃、弓金具などが出土します。また防具である籠手が納められた例もあります。

こうした武器は、愛鷹山麓の集団の武人的な性格を反映していると考えられます。

交通網の管理と牧の経営　愛鷹山の古墳群からは馬具も多く出土します。馬は 5 世紀頃に朝鮮半島からもたらされ、軍用のほか、陸上交通を担う動物として重宝されました。愛鷹山麓周辺に集中する馬具は、この地域の集団が陸上交通網の管理やそこで利用する馬の飼育をおこなったことを示す資料です。

土木開発と殖産興業　土木・手工業生産に関連する道具の副葬から、愛鷹山麓の古墳の主たちの中に、土木開発や手工業生産に携わる技術者や、彼らを束ねるリーダーがいたと考えられます。彼らは愛鷹山麓に広大な墓域や牧を切り開いたほか、浮島沼を挟んで対岸に位置する田子の浦砂丘上に、手工業生産の拠点となる大集落群を創出しました。

芝荒 2 号墳出土
単鳳環頭大刀柄頭

二ツ塚古墳出土
単鳳環頭大刀柄頭

荒久城山古墳出土
杏葉

千人塚古墳出土
轡（鏡板）

水産加工と王権への貢納　中原遺跡では、7世紀代より鉄製釣針や大型土錘などの漁具のほか、回遊性魚類の煮炊き用と考えられる土師器の鍋が多数出土しています。駿河・伊豆国では、奈良時代以降に平城京へ調として堅魚製品（カツオ節や魚醤などの調味料）を貢納したことが木簡などから判明していますが、中原遺跡の調査により、その原初的な活動が7世紀までさかのぼる可能性が出てきました。

『日本書紀』に登場する稚贄屯倉は、現在の田子の浦港から沼川周辺に7世紀前半頃に設置された、上宮王家（聖徳太子の一族）への堅魚製品の貢納拠点とみる説が有力であり、中原遺跡の特徴とも共通します。

中原遺跡出土　鉄鉗

中原遺跡出土　ガラス小玉鋳型

6　愛鷹山から、駿河・富士へ

6世紀後半から7世紀にかけて1,000基以上築かれた愛鷹山麓の古墳群は、8世紀になると急激に築造数を減じていきます。かろうじて造られる古墳はそれ以前とは様相が変わって、仏教的要素が濃厚な「墓」となり、墓域を大きく変えたり、横穴式石室を小型化したりするようになりました。

集落は、愛鷹山麓の南側の砂丘上に大規模に広がる中原遺跡が衰退を始めます。代わって現在の沼津・富士の中心市街地周辺に駿河郡・富士郡の中心的な役所（郡家）が設置され、上ノ段遺跡や東平遺跡といった巨大な集落や寺院が形成されていきました。

愛鷹山麓周辺で先鞭が付けられた古代の地域開発は、狩野川北岸や富士川東岸にその主たる舞台を移すことで、現在につながる市街地の原型が誕生したのです。

日吉廃寺跡出土　軒丸瓦

エピローグ

旧石器時代以降、人々は時代ごとに様々な形で、愛鷹山やその南麓に広がる浮島沼、河川、駿河湾のもたらすめぐみを利用してきたことがわかります。

厳しい寒冷期の旧石器時代において、安住の地を求めて温暖な気候であった愛鷹山にたどり着いた人々は、環境や社会情勢の変化に伴い、道具の形状や素材、集落の場所や形態を変えて生活しました。

そして、富士山噴火の影響を受けた愛鷹山麓周辺の再興の過程で培われた技術は、現在の富士・沼津両市の市街地の原型を作り出していったのです。

今回の展示を通して、富士・沼津両市でおこなわれている自然利用や地域開発などの源流が、愛鷹山麓周辺で暮らした人々の生存戦略に端を発していることを感じていただければ幸いです。

富士山かぐや姫ミュージアム　　2021年9月18日発行

富士山かぐや姫ミュージアム　秋のテーマ展
令和３年度 沼津市・富士市連携埋蔵文化財活用特別展示事業

愛鷹山と生きる

あしたかやまといきる

原始・古代の生存戦略

富士山かぐや姫ミュージアム
令和３年９月18日（土）～11月28日（日）

展示資料一覧

資料名大別	資料名細別	遺跡名	遺跡所在地	時代	所蔵
プロローグ					
局部磨製石斧	-	西洞遺跡	沼津市	旧石器時代	沼津市教育委員会
局部磨製石斧	-	土手上遺跡	沼津市	旧石器時代	沼津市教育委員会
局部磨製石斧	-	清水柳北遺跡	沼津市	旧石器時代	沼津市教育委員会
局部磨製石斧	-	的場遺跡	沼津市	旧石器時代	静岡県埋蔵文化財センター
局部磨製石斧	-	向田Ａ遺跡	長泉町	旧石器時代	静岡県埋蔵文化財センター
1　山を駆け、穴を掘る旧石器人					
台形様石器	-	土手上遺跡	沼津市	旧石器時代	沼津市教育委員会
ナイフ形石器	-	清水柳北遺跡	沼津市	旧石器時代	沼津市教育委員会
尖頭器	-	的場遺跡	沼津市	旧石器時代	静岡県埋蔵文化財センター
細石器	-	向田Ａ遺跡	長泉町	旧石器時代	静岡県埋蔵文化財センター
2　場所が変われば、道具もかわる					
石鏃・打製石斧・磨製石斧	-	向山遺跡	富士市	縄文時代	静岡県埋蔵文化財センター
打欠石錘・磨製石斧	-	峰山遺跡	富士市	縄文時代	富士市
石鏃・打欠石錘・打製石斧	-	平沼吹上遺跡	沼津市	縄文時代	沼津市教育委員会
磨石	-	平沼吹上遺跡	沼津市	縄文時代	沼津市教育委員会
石皿・磨石	-	元野遺跡	沼津市	縄文時代	沼津市教育委員会
石皿・石匙（いしさじ）	-	向山遺跡	富士市	縄文時代	静岡県埋蔵文化財センター
石製装飾品	-	向山遺跡	富士市	縄文時代	静岡県埋蔵文化財センター
植物遺体	クリ	元野遺跡	沼津市	縄文時代	沼津市教育委員会
縄文土器	深鉢（曽利Ⅲ・Ⅳ式）	向山遺跡	富士市	縄文時代中期後半	静岡県埋蔵文化財センター
縄文土器	深鉢（諸磯Ｃ式）	向山遺跡	富士市	縄文時代前期末	静岡県埋蔵文化財センター
縄文土器	深鉢（五領ヶ台式）	平沼吹上遺跡	沼津市	縄文時代中期初頭	沼津市教育委員会
縄文土器	深鉢（諸磯Ｃ式）	平沼吹上遺跡	沼津市	縄文時代前期末	沼津市教育委員会
縄文土器	深鉢（茅山下層式）	元野遺跡	沼津市	縄文時代早期後半	沼津市教育委員会
3-1　遺跡をトリまく水とのかかわり					
鍬類	広鍬・狭鍬	雌鹿塚遺跡	沼津市	弥生時代	沼津市教育委員会
掘り棒	-	雌鹿塚遺跡	沼津市	弥生時代	沼津市教育委員会
田下駄	-	雌鹿塚遺跡	沼津市	弥生時代	沼津市教育委員会
発火具	-	雌鹿塚遺跡	沼津市	弥生時代	沼津市教育委員会
磨製石斧	太型蛤歯石斧・扁平片刃石斧	雌鹿塚遺跡	沼津市	弥生時代	沼津市教育委員会
鳥形木製品	-	雌鹿塚遺跡	沼津市	弥生時代	沼津市教育委員会
櫂	-	雌鹿塚遺跡	沼津市	弥生時代	沼津市教育委員会
舟形木製品	-	雌鹿塚遺跡	沼津市	弥生時代	沼津市教育委員会
有頭石錘・打欠石錘	-	雌鹿塚遺跡	沼津市	弥生時代	沼津市教育委員会
3-2　リーダーの出現					
環濠に埋められた土器	弥生土器（壺・甕・鉢）	宮添遺跡	富士市	弥生時代	富士市
弓	-	雌鹿塚遺跡	沼津市	弥生時代	沼津市教育委員会
剣形木製品	-	雌鹿塚遺跡	沼津市	弥生時代	沼津市教育委員会
有孔磨製石鏃	-	的場遺跡	富士市	弥生時代	富士市
有孔磨製石鏃	-	宮添遺跡	富士市	弥生時代	富士市
有孔磨製石鏃	-	向山遺跡	富士市	弥生時代	富士市
銅鏃	-	宮添遺跡	富士市	弥生時代	富士市
銅鏃	-	向山遺跡	富士市	弥生時代	静岡県埋蔵文化財センター
銅釧（どうくしろ）	-	宮添遺跡	富士市	弥生時代	富士市
3-3　舟で旅する巨大壺					
大型壺	大廓式土器	北神馬土手遺跡	沼津市	弥生時代	静岡県埋蔵文化財センター
4　災害からの復興と前方後円墳					
スコリア剥ぎ取り標本	-	柏原遺跡	富士市	古墳時代	富士市
円筒埴輪	-	長塚古墳	沼津市	古墳時代	沼津市教育委員会
土師器	杯・壺	長塚古墳	沼津市	古墳時代	沼津市教育委員会
須恵器	蓋杯	長塚古墳	沼津市	古墳時代	沼津市教育委員会
須恵器	脚付長頸壺	清水柳北３号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会

資料名大別	資料名細別	遺跡名	遺跡所在地	時代	所蔵
5-1　愛鷹山の群集墳と地域開発					
土師器	埦・杯	平沼吹上 1 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
須恵器	高杯・長頸壺・蓋杯・提瓶・甕	平沼吹上 1 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
須恵器	平瓶	石川 1 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
須恵器	蓋杯	石川 28 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
須恵器	はそう	石川 119 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
須恵器	高杯	船津 L-206 号墳	富士市	飛鳥時代	富士市
須恵器	長頸壺・フラスコ瓶・はそう	千人塚古墳	富士市	飛鳥時代	富士市
土師器	杯・高杯	中里 K-99 号墳	富士市	飛鳥時代	富士市
須恵器	蓋杯・はそう・提瓶・フラスコ瓶・横瓶	中里 K-99 号墳	富士市	飛鳥時代	富士市
5-2　愛鷹山麓の開拓者たちの素顔					
耳環	-	石川古墳群	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
玉類	-	石川古墳群	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
玉類	-	船津 L-207 号墳	富士市	飛鳥時代	富士市
玉類	-	吹上 1 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
金銅製鈴	-	石川 119 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
真珠貝製棗玉	-	船津寺ノ上 1 号墳	沼津市	飛鳥時代	富士市
玉類	線状文トンボ玉・勾玉・切子玉・管玉・ガラス製丸玉・蛇紋岩製丸玉・銅製丸玉	船津 L-207 号墳	富士市	飛鳥時代	富士市
銅釧（どうくしろ）	-	石川 55 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
銅釧（どうくしろ）	-	花川戸 3 号墳	富士市	飛鳥時代	富士市
内行花文鏡	-	富士岡 F-48 号墳	富士市	古墳時代	富士市
乳文鏡	-	清水柳北 2 号墳	沼津市	古墳時代	沼津市教育委員会
大刀・小刀	-	船津寺ノ上 1 号墳	富士市	飛鳥時代	富士市
金銅装大刀	-	石川 T5 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
単鳳環頭大刀柄頭	-	芝荒 2 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
装飾付大刀・小刀	-	芝荒 3 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
単鳳環頭大刀柄頭	-	二ツ塚古墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
圭頭大刀柄頭	-	花川戸 4 号墳	富士市	飛鳥時代	富士市
圭頭大刀刀装具	-	中里 K-95 号墳	富士市	飛鳥時代	富士市
金銅製刀装具	-	石川 119 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
鍔	-	石川 2 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
金銅装馬具	剣菱形杏葉・十文字楕円形轡・辻金具	荒久城山古墳	沼津市	古墳時代	沼津市教育委員会
馬具	鞍金具・鐙吊金具	東原 1 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
馬具	轡	石川 2 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
馬具	轡・辻金具・帯飾金具・鞍金具・鐙吊金具	船津 L-62 号墳	富士市	飛鳥時代	富士市
馬具	轡・辻金具	中里 K-98 号墳	富士市	飛鳥時代	富士市
馬具	轡・鐙吊金具	中里 K-95 号墳	富士市	飛鳥時代	富士市
馬具	轡・鐙吊金具	千人塚古墳	富士市	飛鳥時代	富士市
刀子・紡錘車	-	石川古墳群	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
鎌	-	石川 10 号墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
鎌	-	千人塚古墳	富士市	飛鳥時代	富士市
刀子・ヤリガンナ・鉄鐸	-	的場 3 号墳	沼津市	飛鳥時代	静岡県埋蔵文化財センター
縫針	-	須津 J-6 号墳	富士市	飛鳥時代	静岡県埋蔵文化財センター
鉄鐸	-	国久保古墳	富士市	飛鳥時代	富士市
玉類	ガラス製雁木玉ほか	国久保古墳	富士市	飛鳥時代	富士市
農工具	鍬鋤・刀子・鉄斧・ヤリガンナ・鑿・鉄鉗・鑷子・縫針	中原 4 号墳	富士市	古墳時代	富士市
砥石	-	船津 L-62 号墳	富士市	飛鳥時代	富士市
ガラス小玉鋳型	-	中原遺跡	沼津市	飛鳥～奈良時代	沼津市教育委員会
手工業関連遺物	鉄斧・鉄鉗・紡錘車・刀子　・鑷子・砥石・鉄滓	中原遺跡	沼津市	飛鳥～奈良時代	沼津市教育委員会
土錘	-	中原遺跡	沼津市	飛鳥～奈良時代	沼津市教育委員会
釣針	-	中原遺跡	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
土師器	堝（なべ）	中原遺跡	沼津市	飛鳥～奈良時代	沼津市教育委員会
土師器	堝（なべ）	中原遺跡	沼津市	飛鳥～奈良時代	沼津市教育委員会
土師器	堝（なべ）	藤井原遺跡	沼津市	奈良時代	沼津市教育委員会
須恵器	壺Ｇ	藤井原遺跡	沼津市	平安時代	沼津市教育委員会
堅魚の魚醤を運んだ容器	壺Ｇ復元品	-	-	-	富士市
木簡	複製	平城宮跡	奈良市	-	富士市
6　愛鷹山から、駿河・富士へ					
須恵器	長頸壺・杯蓋	清水柳北 1 号墳	沼津市	奈良時代	沼津市教育委員会
銅鋺	-	宮下古墳	沼津市	飛鳥時代	沼津市教育委員会
塼仏（せんぶつ）・軒瓦	-	日吉廃寺	沼津市	飛鳥～奈良時代	沼津市教育委員会
方頭大刀	-	西平 1 号墳	富士市	飛鳥～奈良時代	富士市
蕨手刀（わらびてとう）	-	西平 1 号墳	富士市	飛鳥～奈良時代	富士市
銅製腰帯具	-	西平 1 号墳	富士市	飛鳥～奈良時代	富士市
「布自」墨書土器	須恵器（杯身）	東平遺跡	富士市	飛鳥～奈良時代	富士市
軒丸瓦	-	東平遺跡	富士市	飛鳥～奈良時代	富士市